

令和6年4月 議会運営のデジタル化特別委員会

会議録

年 月 日	令和6年4月15日(月)			
場 所	下田市役所 大会議室(オンライン)			
開閉会議時及び宣告	開 会	午後1時55分	委員長	浜 岡 孝
	閉 会	午後3時16分	委員長	浜 岡 孝
出席及び欠席委員 出席6名 オブザーバー出席1名 欠席0名  凡例 出席 ○ 欠席 ×	柏 谷 祐 也	○	大 西 將 由	○
	浜 岡 孝	○	長 友 く に	○
	岡 崎 大 五	○	江 田 邦 明	○
	中 村 敦 (オブザーバー)	○		
職務のため出席した 事 務 局 職 員	局長 藤井数仁	局長補佐 佐々木雅昭	書記 瀬戸 翔	
その他出席者職氏名	キッセイコムテック(株) 宮澤氏他1名			
会 議 の 経 過	別紙のとおり			

(開会 13:55)

委員長 議会運営のデジタル化特別委員会を開会する。

本日はキッセイコムテック㈱にオンラインにより出席いただき「Smart Discussion」のデモンストレーションをお願いします。

宮澤氏 ……オンラインによるデモンストレーション……

委員長 デモンストレーションに対する質問を許可する。

委員 「発表する」ボタンを押下することで議員側から発表できるということか。

宮澤氏 指摘のとおり。「発表する」ボタンが押下されることで主宰者側で発言者を切り替えることが可能となっているが、複数の者が当該ボタンを押下することで発言者が複数になることもある。

委員 Zoomでの「手を上げる」という機能と同様と考えてよいか。

宮澤氏 見込みのとおりではあるが、発言者が複数になると混乱を招く恐れもあるため、事務局が発表者を切り替えるような機能が備わっており、その場合には「発表する」ボタンが表示されないような仕様にも切り替え可能。

委員 「全ファイル横断検索」と「pdf全文検索」との違いは何か。

宮澤氏 「pdf全文検索」は今見ている資料の中でキーワード検索をするもの。これに対し「全ファイル横断検索」はフォルダの中の多くの資料をすべて検索の対象としてキーワード検索をするもの。

委員 画面を分割した状況での検索は可能なのか。

宮澤氏 可能。

委員 サーバーに保存されているすべてのファイルからの検索が可能と考えてよいか。

宮澤氏 アクセスが認められているフォルダが検索対象となる。

「全ファイル横断検索」は広い範囲での検索も可能である他、一部のフォルダ内という限定的な検索も可能。

委員 他社との比較表では「Smart Discussion」が圧倒的に優位と思われるが、まだ不足していると思われる点があれば教示願いたい。

宮澤氏 「Smart Discussion」はiPadとWindows版のアプリケーションは用意しているもののandroid系には専用のアプリケーションは用意していない。従って対応端末という部分においては他社から劣る部分もある。

この他機能という点において、現在最もシェアが高いのは「Side Books」というアプリケーションだが、「Side Books」においてはページをめくる際のカール効果を有しているが、「Smart Discussion」にはそうした視覚的效果はない。

委員 「Side Books」にはページのカール効果があるというが、「Smart Discussion」ではどういう形でページ送りがされるのか。

宮澤氏 スライドするのみで視覚的效果はない。

委員 議員が自身のアカウントでサーバーに資料をアップロードすることは可能か。

宮澤氏 可能ではあるが当局側でそれを認めていない自治体が多いのが事実。資料のアップロードにはパソコンのwebブラウザを使用することになるが、フォルダヘデータをアップロードできるアクセス権とフォルダ内を閲覧できるアクセス権が区別され、アクセス権が認められた範囲での運用となる。

委員 アプリケーションのアップデートには経費が必要となるのか。

宮澤氏 クラウド版での使用を想定しておりアップデートには費用はかからない。キッセイコムテック㈱のクラウドシステムの利用料を負担いただく形であり、サーバーは同社が責任をもって最新の状態に保っており、利用者側でのアップデートの際の経費は不要。

委員 議員がタブレットを紛失した場合等、情報漏洩対策はどのような対応をとっているのか。

宮澤氏 資料の閲覧方法としては、サーバー上のデータを閲覧するパターンとサーバーからそれぞれの端末へダウンロードして閲覧するパターンの二つのパターンが考えられる。

ペーパーレス会議システムにおいては、基本的には資料をダウンロードしたタブレット端末を持ち歩くことを想定しているが、タブレット端末に保存した資料を外に持ち出せないような対策ができるようになっている。

「Smart Discussion」では、データ単位やフォルダ単位で端末にダウンロードしてある資料を当該端末でしか閲覧できないようなセキュリティ設定をすることが可能である他、データの閲覧時間を設定することも可能で、閲覧可能な時間を経過すると当該端末がオフラインであっても当該データが端末から消去される設定も可能。

また「Smart Discussion」では、システムにダウンロードされた資料は256bitの暗号化方式により強固な暗号化対策を施しているため、仮に「Smart Discussion」を使用している端末を第三者が手に入れて不正なツールでデータを閲覧しようとしてもデータを解読できないような仕組みとなっている。

**委員** 単一のアカウントで複数のパソコンでログイン可能ということだが、個人所有のパソコンで「Smart Discussion」を使用する場合のセキュリティ対策はどのようなものか。

**宮澤氏** 利用可能な端末を事前に設定しておくことで、たとえ第三者が一定の個人のIDやパスワードを知っていたとしても事前に登録された端末でしか「Smart Discussion」を使用することができない仕様となっている他、グローバルIPアドレス制限として、一定のIPアドレスを経由しないとクラウドシステムに接続できない設定も可能。

**委員** タッチ操作が不可能なノートパソコンを使用した場合、「Smart Discussion」の機能はどの程度まで発揮されるのか。

**宮澤氏** タッチパネルが使用できないノートパソコンとタブレット端末の違いとしては、文字の書き易さだけと考えている。タブレット端末の場合には指で直感的に文字を書けるがノートパソコンの場合はマウスを使用して文字を書くことになるため多少ストレスを感じるかもしれないが、その他についてはノートパソコンでもほぼストレスなく使用できるものと考えている。

**委員** 議員側はタブレット端末を使用しているが当局側は既存のLGWAN系のノートパソコンを使用して「Smart Discussion」を運用している自治体はあるか。

**宮澤氏** ある。Windows版については専用のアプリケーションをインストールして使用することを想定しているが、各自治体のセキュリティ上パソコンにアプリケーションをインストールできないことも想定されるため、その場合はオフラインでは資料は閲覧できないがwebブラウザで資料を閲覧する機能を用意しているため、当局側にはLGWAN系のパソコンから仮想ブラウザを通じて資料を閲覧しているという自治体もある。静岡県議会はこの方式だったと思う。

**委員長** 付箋機能についての説明をお願いしたい。

**宮澤氏** 資料にキーボードでメモ書きをすることを「付箋」と、またよく閲覧するページに目印を付けておく機能を「しおり」と表現している。

「しおり」を付すことでページ一覧画面を表示することができ、「しおり」を付けた資料

にジャンプすることが可能。

**委員長** 他社との機能比較は iPad を使用した場合との説明だったが、Windows 版でも特に変わらないという理解でよいか。

**宮澤氏** iPad 版と Windows 版に機能差はない。

**委員長** 本日提供されているタブレット端末の型番を示してほしい。

**宮澤氏** 本日提供しているタブレット端末は Microsoft Surface Pro 8 というもの。

**委員** 例えば議員に配布される予算書や決算書をダウンロードすれば自宅に持ち帰っても閲覧することは可能か。

**宮澤氏** システムとしては自宅でも使用可能。ただしタブレット端末を自宅へ持ち帰り可能とするルールづくりが必要。

**委員** 議員から資料を提供し当局や他の議員へ閲覧させることは可能か。

**宮澤氏** 多くの自治体では事務局を通じて当局側や他の議員に資料を示している。

**委員長** 以上でデモンストレーションに対する質疑応答は終了する。

**委員長** 事務局からの連絡事項はあるか。

**事務局** 4月26日の伊勢原市議会への視察に向け、前回の委員会後質問事項について正副委員長と調整したため近日中に各委員に示す。

**委員長** 以上で本日の委員会を閉会とする。

(散会 15:16)